

経営比較分析表（令和3年度決算）

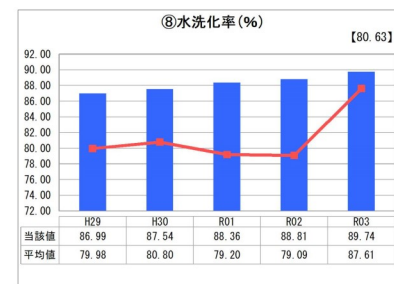
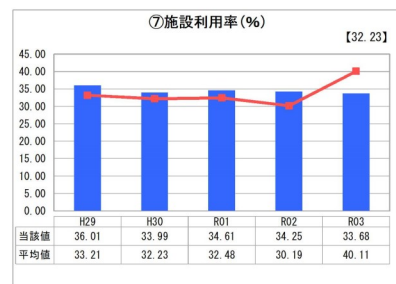
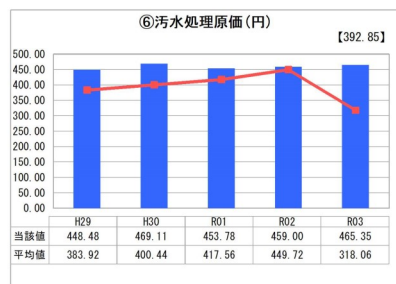
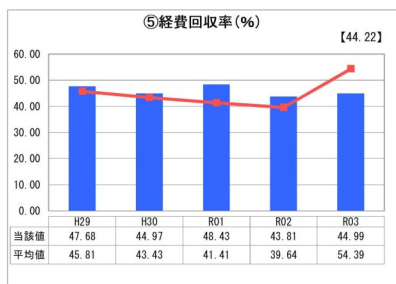
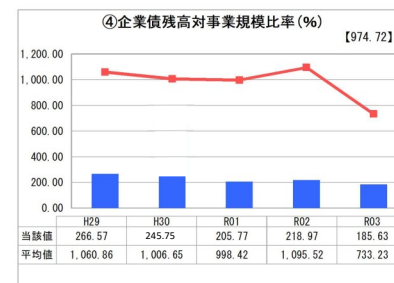
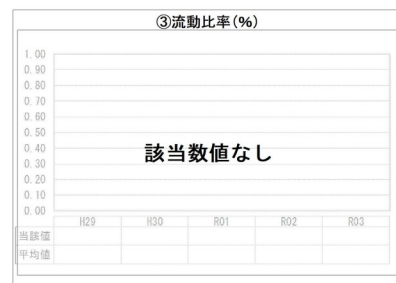
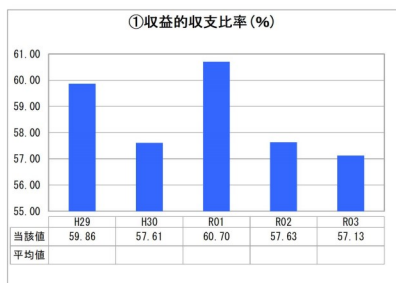
長崎県 長崎市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	0.57	83.25	3,300

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
406,116	405.86	1,000.63
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
2,310	1.40	1,650.00

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
[] 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①収益的収支比率」は、収支が赤字であることから、50～60%台を推移している。収支不足分については一般会計からの繰入金で補填されている。

「④企業債残高対事業規模比率」については、企業債残高が減少していることから、前年度より減少している。

「⑤経費回収率」は、類似団体平均値を下回る40%台で推移しており、これは、使用料について公共下水道と同様の水準とする一方で、小規模な処理施設が分散しているため、維持管理費に多額の費用を要しているためである。

「⑥汚水処理原価」は、類似団体平均値を大きく上回っており、公共下水道への接続や施設のダウンサイジングを進めていくこととしている。

「⑦施設利用率」は、類似団体平均値を下回っており、公共下水道への接続や施設のダウンサイジングを進めていくこととしている。

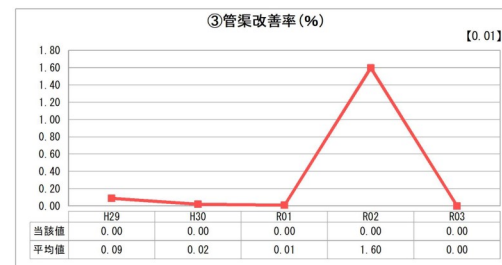
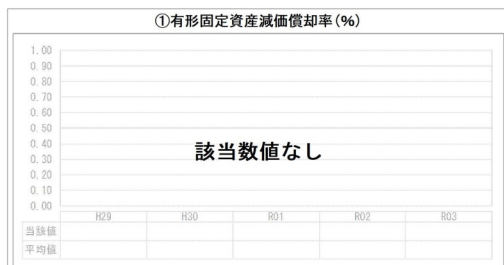
「⑧水洗化率」は、類似団体平均値を上回っているが、使用料収入の確保のためにも、引き続き水洗化施策を行うこととしている。

2. 老朽化の状況について

本市の漁業集落排水施設は、平成3年度から平成10年度にかけて供用が開始された施設であり、施設の老朽化の状況は異なるが、今後各施設の老朽化が進んでいく。

適切な維持管理及びその効率化に努め、事故の未然防止や維持管理費用の抑制を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後も、使用料の増は見込めないことから、大部分の施設については、公共下水道へ統合するとともに、アセットマネジメントを活用しながら、施設のダウンサイジングを進めていくこととしてしている。また、経営状況を正確に把握することを目的に、令和6年度、地方公営企業法を適用することとしている。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。